

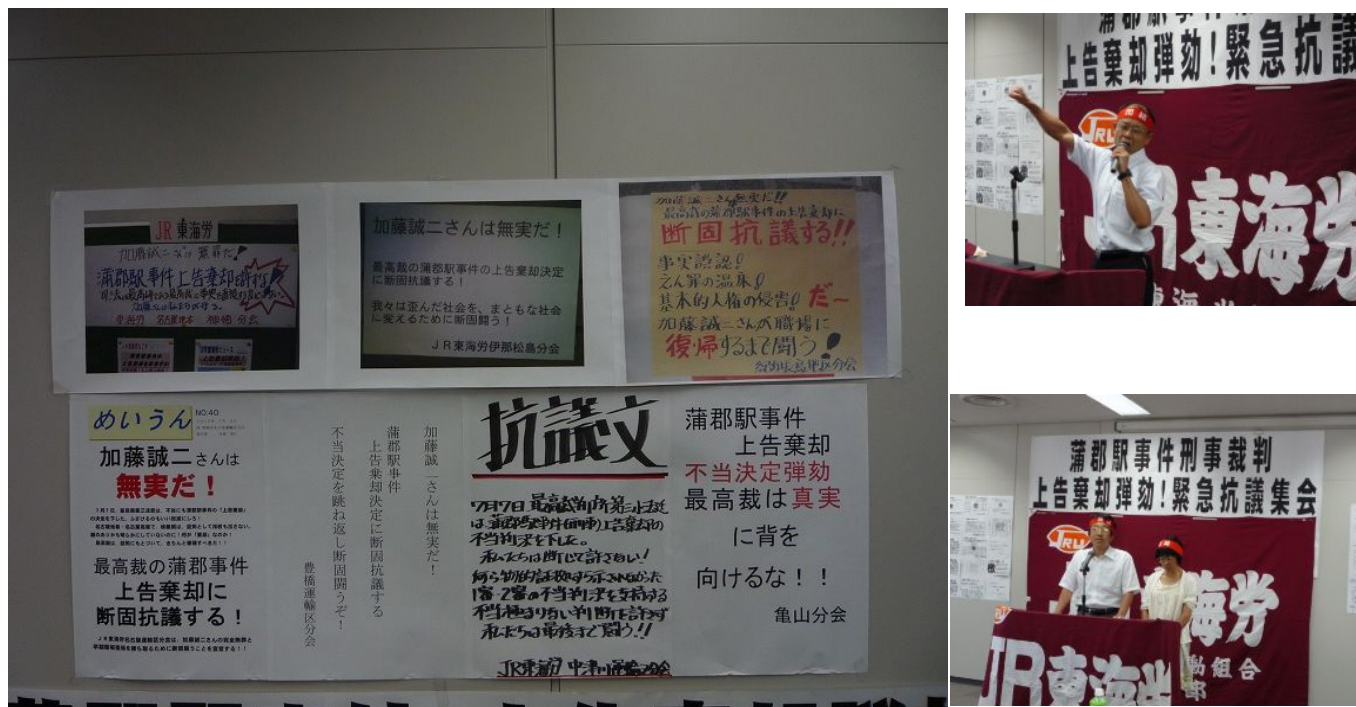
「蒲郡駅事件」上告棄却弾劾！ 怒りの緊急抗議集会

7月7日、参議院選挙の投票日を前にして、最高裁判所第三法廷は、「蒲郡駅事件」に対し、「上告棄却」の不当極まりない決定を下しました。JR東海労本部は、選挙戦の多忙を極めたなか、7月17日、名古屋「れある」において「蒲郡駅事件刑事裁判上告棄却弾劾！緊急抗議集会」を120名の仲間を結集し開催してきました。

今集会は、丹羽名古屋地本副委員長の怒りのシュプレヒコールではじまり、北海道労組をはじめ全国の多くの仲間がかけつけました。多くの仲間からは、「上告棄却の決定は、まさに参議院選挙を闘っている最中であり、時期を見ればまさに政治弾圧である」「日本の裁判制度を象徴する決定だ」などと司法の問題性を明らかにしました。

加藤さんと奥さんからは、「不当な弾圧に屈せず今後も闘う」と怒りの決意がされました。最後に、山田名古屋地本委員長より、「今後も、加藤誠二さんを名古屋が守り抜く」と闘う決意を明らかにしました。

私たち名古屋地本は、最高裁判所の「事件の本質さえも見抜くことができない」ことに対し、煮えたぎる怒りを忘れることなく今後も闘い続けます。



集会に参加された多くの組合員OBの皆さん、大変ご苦勞様でした。
加藤さんの無罪と早期職場復帰を勝ち取るために全国の仲間と共に最後まで闘います。